

【スコアシートクライテリア】



ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP



JCDA CHEER DANCE COMPETITION in Summer



JCDA CHEER DANCE COMPETITION in Spring

(共通)

2024年

一般社団法人日本チアダンス協会

1 部門定義

【Pom部門／Doubles Pom部門】

演技には、シャープ、クリーン、かつ正確なPomモーションテクニックを取り入れること。グループでの実施には、同調性、均一性、位置間隔が重要である。演技の振付には、以下のダイナミックな効果（音楽性、流れるような創造的な移動による視覚効果の演出、高低差、グループワーク、動きやスキルの複雑さ）が重要である。演技全体を通してPomを使用することが求められる。ユニフォーム/コスチュームはカテゴリースタイルを反映したものでなければならない。

- Pom部門の演技構成にLine Danceの実施は必須ではない。
- テクニカルスキルの難度に制限のあるPom部門Novice・Intermediate・Advanceの詳細は「演技規定」をご確認ください。

【Hip Hop部門／Doubles Hip Hop部門】

演技には、グループ感とスタイルを含む、本格的なストリートスタイルの動きを取り入れること。グループでの実施には、同調性、均一性、位置間隔が重要である。演技の振付には、以下のダイナミックな効果（音楽性、ステージング、動きの複雑さ、運動能力）が重要である。衣装やアクセサリーはヒップホップカルチャーを反映した特徴的なものであること。

【Jazz部門】

演技には、トラディショナルまたはスタイルのあるダイナミックな動き、強さ、連続性、存在感、正確なテクニックを取り入れること。グループでの実施に同調性、均一性、位置間隔が重要である。演技の振付には、以下のダイナミックな効果（音楽性、移動、動きやスキルの複雑さ）が重要である。演技全体の印象は、音楽性を活かすため動きのダイナミックさに変化をつけることを理解した上で、生き生きとエネルギッシュで感動を起こさせるものであること。ユニフォーム/コスチュームは、カテゴリースタイルを反映したものとする。

【Cheer Dance部門】

Pom、Hip Hop、Jazzの3つのカテゴリーをそれぞれ連続して20秒以上取り入れて構成をすること。チームとしての正確さや均一性、一体感が重視され、各カテゴリーの特徴を生かした演技が求められる。視覚効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化）を取り入れた創造性溢れる振付構成であること。

- Cheer Dance部門の演技構成にLine Danceの実施は必須ではありません。
- Line Danceを取り入れた演技はPom、Hip Hop、Jazzのいずれかのカテゴリー内で行った要素として評価される。
- Pomカテゴリーにおいて演技全体を通して全員がPomを使用することを必須とします。

2 スコアシート項目説明

【Pom部門／Hip Hop部門／Jazz部門 全編成共通】

TECHNICAL EXECUTION テクニックの実施 30点

●Category Style Execution カテゴリー固有のスタイルの実施 10点

Pom: ポンモーションのテクニックの質、位置、コントロール、正確で強い動きの完成度

Hip Hop: グループと本物のヒップホップとしての質、ストリートスタイル

Jazz: 動きの連続性とスタイルの質、引き上げ、存在感、身のこなし

●Movement Technique Execution 動きの技術の実施 10点

強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度

●Skill Technique Execution スキルの技術の実施 10点

正確な位置、身体の配置、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、動きの完成度を伴う適切なスキルレベルを実施する能力

GROUP EXECUTION グループでの実施 30点

●Synchronization/Timing with Music 同調性／音楽とのタイミング 10点

チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ

●Uniformity of Movement 動きの均一性 10点

動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン、正確さ

●Spacing 位置間隔 10点

競技フロアにおけるルーティン中や移動中の各個人の正確な位置と距離間

CHOREOGRAPHY 振付 30点

●Musicality 音楽性 10点

音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルを活かした創造性、個性的且つ独創性のある動き

●Routine Staging/Visual Effects ルーティンステージング／視覚効果 10点

多様なフォーメーションの活用とスムーズな移動、グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト

高低差、対称など視覚的インパクトのあるステージング

●Complexity of Movement 動きの複雑性 10点

テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さ等の動きの難度 正しい技術の実施に基づいたスキルの難度

OVERALL EFFECT 全体効果 10点

●Communication/Projection/Audience Appeal & Appropriateness コミュニケーション/表現/観客へのアピールと 適正さ 10点

心からのショウマンシップ、観客へのアピールを持ったダイナミックなルーティンを表現する能力、演技を高めるための年齢に適した音楽・衣装・振付

【Cheer Dance部門 全編成共通】

TECHNICAL EXECUTION Pom 10点

● Category Style Execution/Movement Technique Execution/Skill Technique Execution

カテゴリー固有のスタイルの実施/動きの技術の実施/スキルの技術の実施

ポンモーションのテクニックの質、位置、コントロール、正確で強い動きの完成度

動きの強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度

正確な位置、身体の配置、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、動きの完成度を伴う適切なスキルレベルを実施する能力

TECHNICAL EXECUTION Hip Hop 10点

● Category Style Execution/Movement Technique Execution/Skill Technique Execution

カテゴリー固有のスタイルの実施/動きの技術の実施/スキルの技術の実施

グループと本物のヒップホップとしての質、ストリートスタイル

動きの強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度

正確な位置、身体の配置、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、動きの完成度を伴う適切なスキルレベルを実施する能力

TECHNICAL EXECUTION Jazz 10点

● Category Style Execution/Movement Technique Execution/Skill Technique Execution

カテゴリー固有のスタイルの実施/動きの技術の実施/スキルの技術の実施

動きの連続性とスタイルの質、引き上げ、存在感、身のこなし

動きの強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度

正確な位置、身体の配置、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、動きの完成度を伴う適切なスキルレベルを実施する能力

GROUP EXECUTION グループでの実施 30点

● Synchronization/Timing with Music 同調性/音楽とのタイミング 10点

チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ

● Uniformity of Movement 動きの均一性 10点

動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン、正確さ

● Spacing 位置間隔 10点

競技フロアにおけるルーティン中や移動中の各個人の正確な位置と距離間

CHOREOGRAPHY 振付 30点

●Musicality 音楽性 10点

音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルを活かした創造性、個性的且つ独創性のある動き

●Routine Staging/Visual Effects ルーティンステージング/視覚効果 10点

多様なフォーメーションの活用とスムーズな移動、グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト
高低差、対称など視覚的インパクトのあるステージング

●Complexity of Movement 動きの複雑性 10点

テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さ等の動きの難度 正しい技術の実施に基づいたスキルの難度

OVERALL EFFECT 全体効果 10点

●Communication/Projection/Audience Appeal & Appropriateness コミュニケーション/表現/観客へのアピールと 適正さ 10点

心からのショウマンシップ、観客へのアピールを持ったダイナミックなルーティンを表現する能力、演技を高める
ための年齢に適した音楽・衣装・振付

【Doubles Pom部門／Doubles Hip Hop部門 共通】

TECHNICAL EXECUTION テクニックの実施 40点

● Execution of Category Specific Style カテゴリー固有のスタイルの実施 10点

Pom: モーションのテクニク、コントロール、高さ、位置、完成度、正確性と強さ

Hip Hop: グループと本物のヒップホップとしての質、ストリートスタイル

● Execution of Technical Skills and Movement Used Within Category

カテゴリー内で使われるテクニクスキルと動きの実施 10点

キック、リープ、ジャンプ、ターン、フロアワーク、フリーズ、パートナーワーク、リフトなど

● Execution of Overall Movement 動き全体の実施 10点

身体の配置、位置、バランス、コントロール、動きの完成度、伸びと柔軟性

● Execution of Quality of Movement 動きの質の実施 10点

強さ、迫力、存在感のある動きと動きの専念度

EXECUTION AS A PAIR ペアでの実施 10点

● Synchronization 同調性 10点

動きと音楽とのタイミング、二人の同調性と均一性

CHOREOGRAPHY 振付 40点

● Complexity of Movement 動きの複雑性 10点

テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さ等の動きの難度

● Difficulty of Skills スキルの難度 10点

テクニク、パートナーワーク、リフトなどの動きの難度

● Musicality 音楽性 10点

音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルを活かした創造性、独創性のある動き

● Routine Staging ルーティンステージング 10点

フロアスペース、移動、パートナーワーク、グループワーク、高低差、対称などの活用

ペア同士の流れのスムーズなルーティン

OVERALL EFFECT 全体効果 10点

● Communication/Projection/Audience Appeal & Appropriateness コミュニケーション/表現/観客へのアピールと

適正さ 10点

心からのショウマンシップ、観客へのアピールを持ったダイナミックなルーティンを表現する能力、演技を高める

ための年齢に適した音楽・衣装・振付